

宇宙・太陽から地球表層までのシームレスな科学を目指して—気候や大気環境の変動に関連する温室効果気体の観測研究—
Evolution of New Seamless Science From Space, Sun to the Earth Surface: Observational studies of greenhouse gas species

松見 豊^{1*}
MATSUMI, Yutaka^{1*}

¹ 名古屋大学太陽地球環境研究所
¹ Solar Terrestrial Environment Laboratory

地球環境問題の解決に向けた地球システムの真の理解には、宇宙・太陽圏・電磁気圏・大気圏・水圏・地圏と生物圏が密接に相互作用するシステムとしての「太陽地球圏」を包括的に扱う科学の構築と推進が必要である。これらの領域をつなげてシームレスに研究することにより、境界領域の連続性と領域間の相互作用が明らかになる。本発表では名古屋大学でのこうしたシームレス研究の推進の動きを紹介する。また、発表者自身が行っている気候や大気環境の変動に関連する温室効果気体の観測について紹介するとともに、今後の発展方向について考察する。

キーワード: 地球温暖化, 温室効果気体, 気球観測, 二酸化炭素, メタン, レーザー同位体分光計

Keywords: Global warming, Greenhouse gas, Balloon-borne measurement, Carbon dioxide, Methane, Laser isotope spectrometer